

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	総事業費	900,000	1,600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,500,000
		うち市町支出額	900,000	1,600,000	1,000,000			3,500,000
		うち県交付金	450,000	800,000	500,000			1,750,000
2	空家活用プロジェクト ぶらっとほうむCADO	総事業費	410,000	250,000	200,000	200,000	200,000	1,260,000
		うち市町支出額	380,000	210,000	160,000			750,000
		うち県交付金	190,000	105,000	80,000			375,000
3	ICT地域活性促進事業	総事業費	175,433	350,000	350,000	350,000	350,000	1,575,433
		うち市町支出額	155,433	240,000	240,000			635,433
		うち県交付金	77,715	120,000	120,000			317,715
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,485,433	2,200,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	8,335,433
		うち市町支出額	1,435,433	2,050,000	1,400,000	0	0	4,885,433
		うち県交付金	717,715	1,025,000	700,000	0	0	2,442,715

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり
事業主体の名称	のぎ水辺の楽校応援倶楽部
代表者の名称	松平親夫
事業主体の所在	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木2019-3
事業主体の概要	団体の目的 のぎ水辺の楽校周辺の自然保護と周辺の環境整備を進める。 設立年月日 平成24年4月14日 構成員等 地域住民 のぎ学区分館役員 退職教員 地元選出議員 元地主 他
当該事業に係る地域の現状と課題	のぎ水辺の楽校は国有地であり渡良瀬遊水地に隣接している。湿地植物の豊かな生物の生態系が守られており、希少植物も多く残されている。国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」の対象になっている。豊かな湧水を利用してほたる祭りなども実施されている。周辺は長年放置されてきた民有地で、所有者もわからない土地が多く周辺整備の進捗状況も思わしくない。活動の拠点としている場所とその周辺は地主の善意で無償で借用している状態である。また、当水辺の楽校へのアクセスが分かりにくく、入口の道路も狭いため来校者にとって障害となっている。飲料水やトイレの施設もないため来校者から設置要望も多く聞かれる。 のぎ水辺の楽校は、ゲンジボタルが棲息でき、希少植物や野生動物も数多く見られるとても貴重な場所である。この資源を活用し、今後様々なイベントやレクリエーションを行うことを通じて、地域住民の憩いの場となるようにしていくことが必要である。
事業目的	平成21年度から国土交通省の手によりすすめられた「のぎ水辺の楽校」が、事業仕分けの影響を受け散策路だけの完成で打ち切られた。この地はかつて豊かな湧水があったことを知っていた住民の手により、湧水を利用して水路や池が作られた。ゲンジボタルの幼虫とカワニナを放流したところ、ホタルの棲息が確認できた。また、希少植物や野生動物も数多くみられるこの地の自然を守りながら、ほたる祭りや自然体験、キャンプ、バーベキューなどの屋外レクリエーションを楽しめる親水総合自然公園として住民が集い、健全に余暇を楽しめる場となるように整備する。
事業概要	令和3年度 ①新型コロナウイルスの影響のため近隣の小・中学校と連携しての活動は行えなかった。しかし、児童・生徒が安全に自然観察や総合的な学習をいつでも実施できる場となるように除草や危険箇所の点検などは引き続き実施してきた。 ②新たな水源を増設し、水路に安定した地下水を供給できるようになった。カワニナとホタルの幼虫を育て放虫することで、ホタルが飛び交い、メダカも生息する小川や池となった。 ③清水谷や稲荷谷の入り口に花壇とベンチを設置した。生息する野鳥や野草の写真展示スペースを設置するなどの環境整備をすることで、野鳥愛好家や遊歩道を散策する来校者が増加した。 ④のぎ水辺の楽校に隣接した林や竹林を整備し「ふれあい広場」とし、12月5日には「ふれあいコンサート」を実施した。 ⑤新設したふれあい広場で、復興に携わる地元ボランティア団体とともに東日本大震災の追悼式を開催。(3月11日) ⑥生態系に配慮しつつ、老若男女が四季の変化を楽しめるような植物等の移植を行った。 ⑦パンフレットの改正を行った。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】 人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 【数値目標】 流入(移住・交流)人口 現状値:204,736人(令和元年度)→目標値232,000人(令和7年度) 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76.4%(令和元年調査)→目標値80.0%以上(令和6年調査) 【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人(令和元年度)→目標値231,000人(令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件(令和元年度)→目標値20件(令和7年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①自然観察場の整備 ②水源(井戸)の増設とホタルの幼虫飼育放虫 ③案内板・花壇の設置 ④ふれあい広場の整備 ⑤ふれあいコンサート ⑥ヨシ焼き ⑦生態系の保護と移植 ⑧パンフレットの改正	①水路周辺の整備 ②ホタル祭りの実施 ③ふれあい広場拡張 ④ふれあいコンサート ⑤竹林の伐採 ⑥ヨシ焼き ⑦ホームページ作成	①自然観察会の実施 ②ホタルの幼虫放虫 ③ホタル祭りの実施 ④ふれあいコンサート ⑤池や水路周辺の補修と安全対策 ⑥ヨシ焼き		①水路の整備 ②ほたる祭り実施 ③ヨシ焼き ④ふれあいコンサート ⑤竹林の伐採 ⑥散策路の整備
事業費	900,000	1,600,000	1,000,000	3,500,000	1,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	900,000	1,600,000	1,000,000	3,500,000	
うち県交付金	450,000	800,000	500,000	1,750,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	木村
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	空家活用プロジェクト ぷらっとほうむCADO
事業主体の名称	煉瓦窯deマルシェ実行委員会
代表者の名称	松目 優香
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林396-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：野木町の賑わいづくりを目的とする</li> <li>・設立年月日：令和2年10月</li> <li>・構成員等：町内在住者12名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	高齢化が著しい野木町において空家の増加も目立ち始めている。いかに空家を活用していくかというのは社会問題の一つである。 また、町内に移住してきた人などが地域住民との関わりが持てるような交流の場としての拠点が必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者までの幅広い年代の人たちが気軽に立ち寄れる居場所づくり</li> <li>・居場所づくりによって人と人との繋がり、支えあう関係や多世代間交流を生み出すこと</li> <li>・住民のスキル(資格、特技)を発揮できる場所の提供(講習会、ワークショップなど)</li> </ul>
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家活用に必要な物の整備(空調設備)、水回り、外回りの修繕、花壇の整備</li> <li>・イベント実施(8月、9月は中止)</li> <li>毎週1回 CADOの日(コミュニティカフェ)開催</li> <li>6月7日、6月11日 梅シロップづくり、6月18日 ラベンダースティックづくり を行う</li> <li>5月2日、7月3日、11月27日 CADOの縁側(ワークショップを中心に駄菓子の販売等を行う) 開催</li> <li>6月26日、10月24日 CADO de プチマルシェ(物販を中心)開催</li> <li>11月27日、1月22日 講師を招いてワークショップを開催</li> <li>・イベント等が無い日はレンタルスペースとして活用(講習会、習い事、インターネット環境を整えてテレワーク等にも対応)</li> <li>・SNS(LINE公式アカウント、FACEBOOK)を活用した情報発信</li> </ul> <p>【令和4年度、5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家活用に必要な物の整備・修繕、花壇の整備</li> <li>・イベント実施</li> <li>・食育に関するワークショップの開催(新型コロナウイルス感染症収束後)</li> <li>・イベント等が無い日はレンタルスペースとして活用(講習会、習い事、インターネット環境を整えてテレワーク等にも対応)</li> <li>・SNS(LINE公式アカウント、FACEBOOK、Instagram、Twitter)を活用した情報発信</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】</p> <p>ひとが集い、安心して暮らすことができる地域をつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値74.6%(R元年調査)→目標値90.0%(R6年調査)</p> <p>【KPI】</p> <p>まちづくり(ふれあいの町)の満足度 現状値24.8%(令和元年調査)→目標値30.0%以上(R6年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 ③レンタルスペース ④SNSを活用した情報発信	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 ③食育に関するワークショップの開催 ④レンタルスペース ⑤SNSを活用した情報発信	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 ③食育に関するワークショップの開催 ④レンタルスペース ⑤SNSを活用した情報発信		①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 ③食育に関するワークショップの開催 ④レンタルスペース ⑤SNSを活用した情報発信
事業費	410,000	250,000	200,000	860,000	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	380,000	210,000	160,000	750,000	
うち県交付金	190,000	105,000	80,000	375,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	30,000	40,000	40,000	110,000	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	木村
電話	0280-57-4132
連絡先 FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	ICT地域活性促進事業
事業主体の名称	野木町ICT地域活性プロジェクト
代表者の名称	鶴岡 学
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町友沼6409番地2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：ICTを活かした新しい生活様式を地域住民に浸透させていくこと。</li> <li>・設立年月日：2020年5月1日</li> <li>・構成員等：野木町在住者7名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	昨年来よりコロナ禍で人と人の対面での交流や、従来型の集客イベントの開催が控えられている状況となっている。また一方で、テレワークなどICT機器の急速な拡大もみられる。そのような流れの中で、在宅でも参加できる地域のイベント等、ICT機器を活用した新しい形での地域振興・地域活性化の可能性を見出すことを目的とする。またそのために、多くの世代でのICT機器の取り扱いの普及を進めていくことが急務である。
事業目的	野木町内及び渡良瀬遊水地周辺の小規模小売店従事者及び、専門的な知識を有する識者等をゲストとして迎え、その魅力を伝えるオンラインイベントを開催することにより、地域の魅力の発信並びに野木町やその周辺を含む地域アピールを行うことを目的とする。またそれらのオンラインイベントに参加するには最低限のICT機器の操作が必要であるため、地域コミュニティーの中でICT機器の講習会等の開催を行ない、新しい生活様式をICT機器でサポートしていくことを目的とする。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビ会議システムを利用したマルシェ・講演会等のオンラインイベントの開催。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・野木町及びその周辺の在住在勤の市民を対象にしたオンライン講演会【共催事業】</li> <li>9月26日 コドモノミカタねっとわーくオンライン講演会 第1弾 「子育てハッピーアドバイス」youtube LIVE配信 講演会サポート</li> <li>11月20日 コドモノミカタねっとわーくオンライン講演会 第2弾 「地域ぐるみで学校をみんなの居場所に」youtube LIVE配信 講演会サポート</li> <li>・在宅高齢者のためのオンライン歌謡教室等の開催（新型コロナウイルスの影響により中止）</li> <li>・集客イベント（マルシェ）等に替わる、オンライン上での地域活性化イベントの開催【主催事業】</li> <li>7月17日 スウェーデンオンラインツアー</li> <li>12月5日 野木神社オンライン神楽サポート</li> </ul> </li> <li>○そのイベントに必要なスマホ・PC等のICT機器の操作サポート・活用講座の開催。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティーでのICT機器活用講座の開催（主婦・高齢者向）（新型コロナウイルスの影響により中止）</li> <li>・オンラインイベント参加者向けのICT機器操作サポート講座【主催事業】</li> <li>9月11日25日 ICT機器操作サポート講座</li> <li>10月6日、10月20日、11月10日、11月16日 ICT機器操作サポート講座</li> </ul> </li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】ひとが集い、安心して暮らすことができる地域をつくる</p> <p>【数値目標】野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値74.6%（令和元年調査）→目標値90.0%以上（令和6年調査）【KPI】まちづくり（安全・安心のまち）の満足度 現状値32.3%（令和元年調査）→目標値35.0%以上（令和6年調査） 新しい生活様式を実践する町民の割合（アンケート調査）現状値 未調査→目標値90.0%以上（令和6年調査）</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①テレビ会議システムを利用した講演会等のオンラインイベントの開催 ②そのイベントに必要なスマホ・PC等のICT機器の操作サポート・活用講座の開催	①テレビ会議システムを利用したマルシェ・講演会等のオンラインイベントの開催 ②ICTを使用した世代間交流事業（義務教育現場と地域をむすぶサポート事業） ③ICTを使用した地域間交流事業（海外を含む遠隔地との交流事業）	①テレビ会議システムを利用したマルシェ・講演会等のオンラインイベントの開催 ②ICTを使用した世代間交流事業（義務教育現場と地域をむすぶサポート事業） ③ICTを使用した地域間交流事業（海外を含む遠隔地との交流事業）		ICTを用いて地域活性化につながるような事業
事業費	175,433	350,000	350,000	875,433	350,000
市町支出金 (ソフト事業分)	155,433	240,000	240,000	635,433	
うち県交付金	77,715	120,000	120,000	317,715	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	20,000	110,000	110,000	240,000	350,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	木村
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	親水公園を核にして老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	
対象年度	令和3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	900,000	
自主財源	35	
計	900,035	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
・ 報償費	15,000	15,000	7,500	0	イベント1回実施 演奏謝礼3組
・ 消耗品費	294,587	294,552	147,276	35	ホタル成虫、刈払機刃・ブ ラグ、インク他
・ 燃料費	23,878	23,878	11,939	0	刈払機用ガソリン、オイル 他
・ 印刷製本費	81,460	81,460	40,730	0	のぎ水辺の楽校チラシ 展示用ラミネートプリント
・ 修繕費	16,530	16,530	8,265	0	清水谷井戸ポンプ修理
・ 通信運搬費	2,530	2,530	1,265	0	送料
・ 保険料	15,050	15,050	7,525	0	令和3年度ボランティア活 動
・ 賃借料	60,000	60,000	30,000	0	水辺のコンサート音響・照 明 設備
・ 原材料費	201,260	201,260	100,630	0	水辺通路用貫板・角材・金 具、増設井戸からの配管・ 配線他
・ 備品購入費	187,660	187,660	93,830	0	刈払機2台、 増設井戸ポンプ1台
・ 手数料	2,080	2,080	1,040	0	振込・代引手数料
計	900,035	900,000	450,000	35	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	空家活用プロジェクト ぷらっとほうむCADO	
対象年度	令和3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	380,000	
自主財源	22,976	イベントによる収益及び維持管理協力費
計	402,976	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
修繕費	114,684	114,684	57,342	0	水道水漏れ修理、テラス屋根修理、エアコン取替工事
光熱水費	40,360	40,360	20,180	0	電気・上下水道代 ※空家活用プロジェクトに係る費用
燃料費	2,060	2,060	1,030	0	灯油代※空家活用プロジェクトに係る費用
保険料	11,790	11,790	5,895	0	東京海上火災保険
消耗品費	133,981	119,546	59,773	14,435	電気ポット、浄水器、人感センサーライト、散水ホースリール 庭整備(腐葉土、植物等) 事務用品(コピー用紙、画用紙、筆記具、その他) 掲示物作成用ラミネーター、ラミネートフィルム
通信運搬費	34,452	25,910	12,955	8,542	インターネット回線費 ホームルーター利用料
備品購入費	21,780	21,780	10,890	0	ホームルーター
印刷製本費	29,690	29,690	14,845	0	案内リーフレット、イベントチラシ作成費、掲示物印刷費 コピー代
報償費	10,000	10,000	5,000	0	講師謝礼 5,000×2回
手数料	4,180	4,180	2,090	0	ホームルーター事務手数料 他
計	402,977	380,000	190,000	22,977	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ICT地域活性促進事業	
対象年度	令和3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
受託事業収入	20,000	11/20オンラインフォーラム受託収入
補助金	155,433	
計	175,433	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
使用料	21,746	21,746	10,873	0	ZOOM使用料
消耗品費	41,784	41,784	20,891	0	インク、HDMIケーブル、 参考書籍等
印刷製本費	1,903	1,903	951	0	神楽奉納祭チラシ印刷
備品費	110,000	90,000	45,000	20,000	パソコン
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	175,433	155,433	77,715	20,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合